

平成30年度後期 情報検定

<実施 平成30年12月16日（日）>

2級

(説明時間 11:05~11:15)

(試験時間 11:15~12:15)

- ・試験問題は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- ・解答用紙（マークシート）への必要事項の記入は、試験開始の合図と同時に行いますので、それまで伏せておいてください。
- ・試験開始の合図の後、次のページを開いてください。＜受験上の注意＞が記載されています。必ず目を通してから解答を始めてください。
- ・試験問題は、すべてマークシート方式です。正解と思われるものを1つ選び、解答欄の○をHBの黒鉛筆でぬりつぶしてください。2つ以上ぬりつぶすと、不正解になります。
- ・辞書、参考書類の使用および筆記用具の貸し借りは一切禁止です。
- ・電卓の使用が認められます。ただし、下記の機種については使用が認められません。

<使用を認めない電卓>

1. 電池式（太陽電池を含む）以外の電卓
2. 文字表示領域が複数行ある電卓（計算状態表示の一行は含まない）
3. プログラムを組み込む機能がある電卓
4. 電卓が主たる機能ではないもの
 - * パソコン（電子メール専用機等を含む）、携帯電話（PHS）、スマートフォン、タブレット、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付き腕時計、時計型ウェアラブル端末等
5. その他試験監督者が不適切と認めるもの

＜受験上の注意＞

1. この試験問題は19ページあります。ページ数を確認してください。
乱丁等がある場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
※問題を読みやすくするために空白ページを設けている場合があります。
2. 解答用紙（マークシート）に、受験者氏名・受験番号を記入し、受験番号下欄の数字をぬりつぶしてください。正しく記入されていない場合は、採点されませんので十分注意してください。
3. 試験問題についての質問には、一切答えられません。自分で判断して解答してください。
4. 試験中の筆記用具の貸し借りは一切禁止します。筆記用具が破損等により使用不能となった場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
5. 試験を開始してから30分以内は途中退出できません。30分経過後退出する場合は、もう一度、受験番号・マーク・氏名が記載されているか確認して退出してください。なお、試験終了5分前の合図以降は退出できません。試験問題は各自お持ち帰りください。
6. 試験後にお知らせする合否結果（合否通知）、および合格者に交付する「合格証・認定証」はすべて、Webページ（PC、モバイル）での認証によるデジタル「合否通知」、デジタル「合格証・認定証」で行います。
 - ①団体宛には合否結果一覧ほか、試験結果資料一式を送付します。
 - ②合否等の結果についての電話・手紙等でのお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。

問題を読みやすくするために、
このページは空白にしてあります。

問題 1 次の企業会計に関する各設問に答えよ。

＜設問 1＞ 次の損益計算書の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。
なお、(1)～(3)は各利益を表し、金額(※印)は問題の都合上表示していない。

損益計算書は、一定期間における収益と費用の関係を明らかにし、その期間における企業の経営成績を表す書類である。

	単位 百万円
売上高	6,500
売上原価	5,000
<input type="text"/> (1)	1,500
販売費及び一般管理費	500
<input type="text"/> (2)	※
営業外収益	260
営業外費用	110
<input type="text"/> (3)	※
特別利益	20
特別損失	10

図 損益計算書

図の損益計算書から求められる経常利益は (4) 百万円となる。

(1)～(3)の解答群

- ア. 売上総利益
- ウ. 経常利益

- イ. 営業利益
- エ. 税引前当期純利益

(4)の解答群

- ア. 630
- イ. 1,000
- ウ. 1,150
- エ. 1,260

<設問2> 次の損益分岐点売上高の求め方に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

損益分岐点分析では、売上高の増減に応じて費用や利益がどのように変化するかを分析し、どの程度の売上高があれば利益を生み出すのかを検討する。

商品を製造販売する際の費用には、売上高とは関係なく発生する固定費と、商品の売上高に応じて増減する変動費がある。固定費と変動費を加算したものが総費用である。

損益分岐点売上高とは、売上高と総費用が同額になる点であり、以下の①の式で求めることができる。また、目標利益を得るための売上高は以下の②の式で求めることができる。

① 損益分岐点売上高 = 固定費 ÷ (1 - 変動費 ÷ 売上高)

② 目標利益を得るための売上高 = (目標利益 + 固定費) ÷ (1 - 変動費 ÷ 売上高)

ここで、固定費が500万円で、売上高が1,000万円の時、変動費が600万円かかる。この時の損益分岐点売上高は□□(5)万円となり、160万円の利益を得るための売上高は□□(6)万円となる。

(5) , (6) の解答群

ア. 830

イ. 1,100

ウ. 1,250

エ. 1,650

問題 2 次のプロジェクトマネジメントに関する各設問に答えよ。

＜設問 1＞ 次のプロジェクト組織に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

定常業務と異なり、「ある期間の中で、独自の製品やサービスを作り出すために実施される業務」を行うときに、プロジェクトが組織され、 (1) と期限がある。さらに、プロジェクトは、使用できる資源やコストが決められている（資源有限性）、達成すべき課題のさまざまな不確定要素を段階的に詳細化して明らかにする（段階的詳細化）、過去に同じものが存在しない（ (2)）という特徴を備えた、業務・事業のことである。

プロジェクトにかかわる多くの人たちのことをステークホルダ（利害関係者）と呼ぶ。ステークホルダの中でも、プロジェクトにおいて重要な役割を担う人として、次の人たちがいる。

(3) …プロジェクトに対して資金や資源を提供する人または組織

(4) …プロジェクトを成功させるために、資源やコストなどに配慮してプロジェクト全体を管理する

(5) …プロジェクトに参加し、役割を与えられて業務を遂行する

(1) の解答群

ア．計画 イ．効果 ウ．目的

(2) の解答群

ア．効率性 イ．信頼性 ウ．独自性

(3) ～ (5) の解答群

ア．システム監査人 イ．プロジェクトスポンサー
ウ．プロジェクトマネージャ エ．プロジェクトメンバ

<設問2> 次のPMBOKの知識エリアに関する記述を読み、(6)、(7)に最も関係の深い字句を解答群から選べ。

PMBOKは、プロジェクトマネジメントに関する共通知識などを体系的に整理したものであり、プロジェクトマネジメント体系のスタンダードである。

表 PMBOKの知識エリア

知識エリア	説明
統合マネジメント	他の8つの知識エリアの各プロセスを統合し、プロジェクト全体の最適化を図る。
スコープ・マネジメント	プロジェクトで行うべき作業範囲を明確にし、プロジェクトに必要な作業を過不足なく洗い出す。
タイム・マネジメント	プロジェクトを予定の期間内に完了させるため、スケジュールを作成し、進捗管理を行う。
コスト・マネジメント	プロジェクトの予算と実績を検証し、コスト管理を行う。
品質マネジメント	プロジェクトに要求されている品質を満たすため、品質管理を行う。
人的資源マネジメント	プロジェクトに必要な人的資源を確保し、チームの編成およびメンバ教育を行い、人材の有効活用を図る。
コミュニケーション・マネジメント	プロジェクトのステークホルダとの円滑なコミュニケーションを図るための仕組みを作り、運営する。
リスク・マネジメント	プロジェクトに想定されるリスクの識別・分析・評価を行い、それぞれのリスク対応を検討し、管理を行う。
調達マネジメント	プロジェクトに係る外部調達について計画を策定し、管理を行う。
ステークホルダ・マネジメント	プロジェクトにかかわる利害関係者と良好な関係を構築する。

(6) WBSにより作業を細分化し、それぞれの成果物を定義した。

(7) プロジェクトメンバ全員が各自の役割と責任を明確に把握できるようにする。また、各プロジェクトメンバの労働時間の上限なども決定する。

(6)、(7)の解答群

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ア. コスト・マネジメント | イ. コミュニケーション・マネジメント |
| ウ. 人的資源マネジメント | エ. スコープ・マネジメント |
| オ. タイム・マネジメント | カ. 調達マネジメント |
| キ. ステークホルダ・マネジメント | ク. 品質マネジメント |
| ケ. リスク・マネジメント | |

問題3 次の情報表現に関する各設問に答えよ。

<設問1> 次のバーコードに関する記述に最も関係の深い字句を解答群から選べ。

- (1) 2次元バーコードの規格で、これまでのバーコードが横方向にしか情報を持たないのに対し、縦横に情報を持っているため数字だけでなく英字や漢字など、格納できる情報量が多い。また、どの角度からも読み取りが可能であり、汚れや破損があってもある程度までは読み取ることができる。
- (2) ヨーロッパで規格化されたバーコード規格であり、当初ヨーロッパで普及したが現在は100カ国以上の国で利用されている。標準タイプ(13桁)と短縮タイプ(8桁)の2つの種類があり、先頭から「国コード(2桁)を含む事業者コード」、「商品コード」、「チェックディジット」の順番でデータが格納されている。
- (3) 物流商品コード用のバーコードとして利用されており、主に段ボールに印刷されている。標準の桁数は14桁で、バーの幅が「細い」か「太い」の2パターンでしか判別しない単純な機構のため、読み取りやすいバーコードであり、物流関係の用途に向いている。
- (4) 書籍、カセットテープ・ビデオ・CDなどの電子出版物を含む、出版物を識別する13桁の国際標準図書番号である。「出版された国・言語圏」「出版者」「書籍名」を表す記号が含まれている。

(1) ~ (4) の解答群

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| ア. EANコード | イ. ISBNコード | ウ. ITFコード |
| エ. QRコード | オ. RFID | カ. UPCコード |

<設問2> 次のチェックディジットに関する記述中の□□□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

コードから一定のアルゴリズムによって算出された数値をチェックディジットと呼ぶ。いくつかのアルゴリズムが利用されているが、ここでは次のアルゴリズムにより数字6桁で構成されるコードに対してチェックディジットを求める。

【チェックディジットのアルゴリズム】

(手順)

[I] 図のように、コードの右端を1桁目(①)とし、順に左へ向かい2桁目(②)~6桁目(⑥)とする。

コード： 8 5 3 7 2 4
 ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
 ⑥⑤④③②①

図 コードの例

[II] 奇数位置の桁を合計(①+③+⑤)して3倍する。

[III] 偶数位置の桁を合計(②+④+⑥)する。

[IV] 上記[II]と[III]の和を求める。

[V] 10から[IV]の1の位の数字を引いた数字をチェックディジットとする。ただし、[IV]の1の位の数字が0の場合はそのまま0をチェックディジットとする。

図のコード「8 5 3 7 2 4」の場合、チェックディジットを求めると□(5)となる。次にコード「4 7 9 5 □(6) 3」の場合、チェックディジットを求めると8になる。

このように、チェックディジットをコードの末尾に付与することで□(7)を発見できる。

(5) の解答群

ア. 5 イ. 6 ウ. 7 エ. 8 オ. 9

(6) の解答群

ア. 0 イ. 1 ウ. 2 エ. 3 オ. 4

(7) の解答群

ア. 計算ミス イ. 入力ミス ウ. 判断ミス

問題4 次の問題を解決するための方法に関する記述を読み、各設問に答えよ。

業務で発生する様々な問題を解決するには、計画を立てて業務を評価する仕組みが必要になる。計画や評価の各段階で、メンバー同士が意見交換を行いながら問題を発見する方法がいくつかある。

<設問1> バズセッションに関する正しい記述を次の解答群から選べ。

(1) の解答群

- ア. 参加者全員が集まって1週間程度じっくり時間をかけて討議する。
- イ. 少人数のグループに分かれて討議し、その結果を参加者全員による討議において、各自の判断で自由に発表する。
- ウ. 少人数のグループに分かれて討議し、グループの討議結果を代表者が全体会で発表する。グループ討議と全体会を繰り返し、意見を集約させる。
- エ. 参加者全員による討議で意見をまとめるが、意見がまとまりそうにない場合に少人数に分かれて討議する。

<設問2> 次のブレインストーミングに関する記述で、正しいものにはア、誤っているものにはイを答えよ。

- (2) 自由奔放な意見を重視するため意見は多いほど良い。
- (3) 他人の意見を批判することは禁止する。
- (4) 他人の意見に便乗した意見を出してはならない。

<設問3> 次のKJ法に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

KJ法は、あるテーマについての情報を収集し、共通点を段階的に集約して問題の整理・分析を行う手法である。KJ法では、出された意見はカードを使って次のような手順で整理する。

- 1. 情報を収集し、意見をカード化する。
- 2. □□□□(5)を行う。
- 3. □□□□(6)を行う。
- 4. グループの並び替えを行う。
- 5. □□□□(7)を行う。
- 6. 文書化を行う。

(5) ～ (7) の解答群

ア. グループニング

イ. 細分化

ウ. 図解化

エ. 見出し作り

<設問 4> 次の問題分析の技法に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

現実の事象を模擬的に作り出して問題の分析をする作業を (8) と呼ぶ。コンピュータで予測される状況を計算して業務の意思決定に役立てる手法でもある。

例えば、製品に負荷を与えることを模擬的にコンピュータで行うことで不具合を発見することができる。

(8) の解答群

ア. エンティティ

イ. シミュレーション

ウ. チェックシート

エ. プロパティ

問題5 次のヒューマンインタフェースに関する各設問に答えよ。

<設問1> 次のGUIに関する記述に最も関係の深い字句を解答群から選べ。

- (1) アプリケーションソフトウェアのウィンドウ上部などに、操作可能な項目を一行に並べて表示したもので、表示した項目をマウスでクリックするなどして選択すると、その項目に対応した操作を実行する。
- (2) 複数の選択肢の中から、一つ以上の項目を選択する場合に利用する。画面では一般的に「□」で表示され、ここをマウスでクリックするごとに中にレ点が表示されたり消えたりする。レ点が表示されている状態が、その項目が選択されていることを示す。
- (3) 複数の選択肢の中から、一つの項目だけを選択する場合に利用する。画面では一般的に「○」で表示され、マウスでクリックすると中に小さな黒丸が表示され、選択されたことを示す。項目は一つしか選択できない排他的選択になっている。
- (4) 単一のウィンドウ内で表示領域を操作する要素で、水平または垂直に移動するとき使用される。

(1) ~ (4) の解答群

- ア. スクロールバー
- イ. チェックボックス
- ウ. ツールチップ
- エ. メニューバー
- オ. ラジオボタン

(5) 画面上に表示される長方形の領域であり、ここに文字を入力する。一行だけ入力する短冊形と複数行入力できる箱型がある。

(6) 表示済みの機能名やアイコンをクリックしたときに、その機能に関する詳細な機能がすぐ下や右にリスト形式で表示されるメニューである。

(5) , (6) の解答群

- ア. クリップボード
- イ. テキストボックス
- ウ. プルダウンメニュー
- エ. プログレスバー
- オ. マウスオーバー
- カ. メッセージボックス

<設問 2 > ユニバーサルデザインに関係の深い記述を解答群から選べ。

(7) の解答群

- ア. 施設内のトイレでたびたび行列が発生していたので、トイレの改修工事の際に個室を狭くして個数を増やした。
- イ. 商品数が多いため、すべての陳列商品のすぐ下に購入ボタンを設置し直した。商品は自動販売機の上端から複数段にわたり陳列されている。
- ウ. テレビの多機能化に伴い、リモコンのボタンを小さくしてすべての操作を可能とした。
- エ. 右利き左利きどちらでも使用できるハサミを開発した。

問題6 次のTCP/IPに関する各設問に答えよ。

<設問1> 次の通信プロトコルに関する記述に関係の深い字句を解答群から選べ。

- (1) TCP/IP ネットワーク上でパケットを送信する場合、パケットを受取るコンピュータの MAC アドレスを知る必要がある。そのために用いられるのが、IP アドレスから MAC アドレスを取得するプロトコルである。
- (2) コンピュータが TCP/IP ネットワークに接続する際に必要な IP アドレスなどの情報をサーバが自動的に割当ててるプロトコルである。
- (3) 電子メールをメールサーバ上で管理するプロトコルである。メールサーバ上で管理するため、一つのメールアドレスで受信した電子メールを複数のコンピュータで参照することが可能となる。
- (4) ネットワーク上のコンピュータを識別する IP アドレスに対して、人間にとって理解しやすい文字列を割り当てているものがドメイン名である。ドメイン名から IP アドレスを取得するためのプロトコルである。
- (5) ユーザが自分宛の電子メールを保管しているメールサーバにアクセスし、パソコンにインストールしてあるメールソフトで電子メールを受信する場合に用いるプロトコルである。メールソフトが電子メールを受信すると同時に、電子メールはメールサーバから自動的に削除される。
- (6) ユーザがパソコンにインストールしてある電子メールソフトで電子メールを送信依頼する場合や、メールサーバ間で電子メールを転送する場合に用いるプロトコルである。

(1) ~ (6) の解答群

- | | | | |
|--------|---------|-----------|---------|
| ア. ARP | イ. DHCP | ウ. DNS | エ. IMAP |
| オ. POP | カ. SMTP | キ. TELNET | ク. UDP |

<設問2> 次の複数の相手へのデータ伝送に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

ネットワーク内のコンピュータ間のデータ伝送は、「1対1」や「1対多」で行われる。「1対多」で伝送されるものに□(7)キャストと□(8)キャストがある。

前者はネットワーク内の全てのコンピュータに対して一斉に伝送するものである。後者はネットワーク内で特定した複数のコンピュータに向けて一斉に伝送するものである。ネットワーク内の複数のコンピュータに同じデータを伝送する場合、「1対1」での伝送を繰り返すより効率良く伝送できる。

(7) , (8) の解答群

ア. シングル

イ. ブロード

ウ. マルチ

エ. ユニ

問題7 次の表計算ソフトの仕様を読み、各設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

CONCATENATE 関数

複数の文字列を結合して1つにまとめた文字列を返す。

書式：CONCATENATE(文字列1, 文字列2, …)

COUNTIF 関数

範囲に含まれるセルのうち、条件に一致するセルの個数を返す。

書式：COUNTIF(範囲, 条件)

HOUR 関数

時刻を表すシリアル値から時間の値(0~23)を返す。

書式：HOUR(シリアル値)

SUM 関数

指定した範囲に含まれる数値の合計値を返す。

書式：SUM(範囲)

SUMIF 関数

指定した検索範囲の中で、条件に一致するセルの合計範囲に対応するセルの値の合計値を返す。

書式：SUMIF(検索範囲, 条件, 合計範囲)

式

=に続いて計算式や関数などを入力する。

セル番地の絶対参照

セル番地に\$を付けることで、絶対番地(絶対参照)を表す。

別シートの参照

ワークシート名に「!」を付けてセル位置を指定することにより、別のワークシートを参照できる。

例：ワークシート名「集計」のセルA1を参照する場合は、「集計!A1」と記述する。

Jシネマは、8つのスクリーンを持つシネマコンプレックスである。Jシネマの営業を担当しているA氏は、表計算ソフトを使って映画タイトルごとの売上げや時間帯による人数の集計を1日分のデータを使って行うことにした。

データを集めた日にJシネマで上映したプログラムを「上映プログラム」ワークシートにまとめた(図1)。なお、コードは映画のタイトル、シアターNo, 開始時間ごとに

一意の値になるように設定し、延べ30件になった。

	A	B	C	D
1				
2	コード	タイトル	シアターNo	開始時間
3	S00011	名探偵ゼロ	2	9:00
4	S00012	名探偵ゼロ	2	11:30
5	S00013	名探偵ゼロ	1	13:00
6	S00014	名探偵ゼロ	2	14:00
7	S00015	名探偵ゼロ	2	16:00
8	S00016	名探偵ゼロ	4	17:55
9	S00021	カンフークレヨン	4	9:20
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
31	S05051	笑え	2	18:55
32	S05331	惑星の番人	5	18:45

図1 「上映プログラム」ワークシート

入場者データは、図2の「入場者」ワークシートにまとめた。この日は3,000人が入場したため、ワークシートの3001行まで入力してある。なお、区分が「1」は高校生以下、「2」は一般、「3」はシニアの入場者を表している。

	A	B
1	コード	区分
2	S00011	1
3	S00011	2
4	S00011	1
5	S00011	3
6	S00011	1
7	S00011	1
8	S00011	1
9	S00011	2
⋮	⋮	⋮
3000	S05331	3
3001	S05331	3

図2 「入場者」ワークシート

なお、ここで使用するワークシートで時間を表示しているセルは、時刻を表すシリアル値で格納しており、“h:mm”の表示形式に設定してある。

<設問1> 次の「入場者」ワークシートの拡張に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図3のように、図2の「入場者」ワークシートのC列に、図1の「上映プログラム」ワークシートを拡張して集計を行うための情報として「検索キー」を作成する。

	A	B	C
1	コード	区分	検索キー
2	S00011	1	S000111
3	S00011	2	S000112
4	S00011	1	S000111
5	S00011	3	S000113
6	S00011	1	S000111
7	S00011	1	S000111
8	S00011	1	S000111
9	S00011	2	S000112
⋮	⋮	⋮	⋮
3000	S05331	3	S053313
3001	S05331	3	S053313

図3 拡張した「入場者」ワークシート

「検索キー」は、コードと区分を合成した文字列とする。セル C2 に次の式を入力し、セル C3～C3001 まで複写した。

=

(1) の解答群

- ア. CONCATENATE(A2, B2)
- イ. CONCATENATE(A\$2, \$B2)
- ウ. CONCATENATE(A\$2, B\$2)
- エ. CONCATENATE(\$A2, B\$2)

<設問2> 次の「上映プログラム」ワークシートの拡張に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図1の「上映プログラム」ワークシートのE～H列に、コードごとに集計する値を表示する。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1					区分				
2	コード	タイトル	シアターNo	開始時間	1	2	3	合計	時間帯
3	S00011	名探偵ゼロ	2	9:00	73	94	10	177	9
4	S00012	名探偵ゼロ	2	11:30	57	88	10	155	11
5	S00013	名探偵ゼロ	1	13:00	53	82	6	141	13
6	S00014	名探偵ゼロ	2	14:00	78	86	9	173	14
7	S00015	名探偵ゼロ	2	16:00	62	82	4	148	16
8	S00016	名探偵ゼロ	4	17:55	48	80	1	129	17
9	S00021	カンフークレヨン	4	9:20	39	47	2	88	9
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
31	S05051	笑え	2	18:55	10	70	10	90	18
32	S05331	惑星の番人	5	18:45	3	68	8	79	18

図4 拡張した「上映プログラム」ワークシート

E～G列は、「入場者」ワークシートに入力された入場者の区分ごとの人数を求める。区分に使われる番号をセル E2～G2 に入力し、セル E3 に次の式を入力してセル F3 と G3, および、セル E4～G32 まで複写した。

=

H列は、コードごとの合計人数を求める。次の式をセル H3 に入力し、セル H4～H32 まで複写した。

=

I列は、D列の開始時間の時間部分を求める。セル D3 に次の式を入力し、セル D4～D32 まで複写した。

= HOUR(D3)

(2) の解答群

- ア. COUNTIF(入場者!\$C\$2:\$C\$3001, CONCATENATE(A\$3, \$E2))
- イ. COUNTIF(入場者!\$C\$2:\$C\$3001, CONCATENATE(\$A3, E\$2))
- ウ. SUMIF(入場者!\$C\$2:\$C\$3001, CONCATENATE(A\$3, \$E2), 入場者!\$B\$2:\$B\$30001)
- エ. SUMIF(入場者!\$C\$2:\$C\$3001, CONCATENATE(\$A3, E\$2), 入場者!\$B\$2:\$B\$30001)

(3) の解答群

- ア. SUM(E3:G3)
- イ. SUM(E\$3:G3)
- ウ. SUM(E\$3:G\$3)
- エ. SUM(\$E3:G\$3)

<設問 3> 次の「時間帯ごと人数」ワークシートの作成に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図 4 のワークシートから、開始時間の時間帯ごとの入場者数を集計する「時間帯ごと人数」ワークシートを作成した。

	A	B
1	開始時間帯	入場者数
2	9:00	526
3	10:00	103
4	11:00	408
5	12:00	51
6	13:00	141
7	14:00	417
8	15:00	219
9	16:00	382
10	17:00	129
11	18:00	212
12	19:00	108
13	20:00	141
14	21:00	163

図 5 「時間帯ごと人数」ワークシート

セル A2～A14 に、開始時間帯を 1 時間ごとに入力し、図 4 のワークシートの I 列に求めた時間を利用して集計する。セル B2 に次の式を入力し、セル B3～B14 まで複写した。

=

(4) の解答群

- ア. COUNTIF(上映プログラム!H\$3:H\$32, HOUR(A2))
- イ. COUNTIF(上映プログラム!I\$3:I\$32, HOUR(A2))
- ウ. SUMIF(上映プログラム!I\$3:I\$32, HOUR(A2), 上映プログラム!H\$3:H\$32)
- エ. SUMIF(上映プログラム!H\$3:H\$32, HOUR(A2), 上映プログラム!I\$3:I\$32)

<設問 4> 次の「タイトルごと売上」ワークシートの作成に関する記述中の に
入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図 4 のワークシートから、映画のタイトルごとの入場料を集計する「タイトルごと
売上」ワークシートを作成した。入場料は、区分 1 が 1,000 円、区分 2 が 1,800 円、
区分 3 が 1,100 円である。

	A	B	C	D	E
1		区分1	区分2	区分3	
2	タイトル	1,000	1,800	1,100	入場料合計
3	名探偵ゼロ	371	512	40	1,336,600
4	カンフークレヨン	162	194	17	529,900
5	ジャングル・ベンチャー	50	101	12	245,000
6	パシフィック・ライジング	176	491	34	1,097,200
7	ヘキサゴン・ペンタゴン	17	34	10	89,200
8	新右衛門の宝島	90	116	13	313,100
9	思い出	34	193	19	402,300
10	スーパーレッド	10	33	0	69,400
11	最澄	10	80	12	167,200
12	笑え	10	70	10	147,000
13	惑星の番人	3	68	8	134,200
14	合計				4,531,100

図 6 「タイトルごと売上」ワークシート

A 列に映画のタイトルを入力した。また、それぞれの区分に応じた入場料はセル B2
~D2 に入力した。

B~D 列は、それぞれの区分ごとの入場者数を求める。セル B3 に次の式を入力し、
セル C3 と D3, および、セル B4~D13 に複写した。

= (5)

E 列は、入場料の合計を求める。次の式をセル E3 に入力し、セル E4~E13 まで複写
した。

= (6)

セル E14 は、映画タイトルごとの合計を求めるため、次の式を入力した。

= SUM(E3:E13)

(5) の解答群

- ア. $\text{SUMIF}(\text{上映プログラム!}\$B\$3:\$B\$32, A3, \text{上映プログラム!}E\$3:E\$32)$
- イ. $\text{SUMIF}(\text{上映プログラム!}\$E\$3:\$E\$32, A3, \text{上映プログラム!}B\$3:B\$32)$
- ウ. $\text{SUMIF}(\text{上映プログラム!}\$B\$3:\$B\$32, \$A3, \text{上映プログラム!}E\$3:E\$32)$
- エ. $\text{SUMIF}(\text{上映プログラム!}\$E\$3:\$E\$32, \$A3, \text{上映プログラム!}B\$3:B\$32)$

(6) の解答群

- ア. $B\$2 * B3 + C\$2 * C3 + D\$2 * D3$
- イ. $B2 * B\$3 + C2 * C\$3 + D2 * D\$3$
- ウ. $B2 * B3 + C2 * C3 + D2 * D3$
- エ. $\text{SUM}(B3:D3) * \text{SUM}(B\$2:D\$2) / 3$

<メモ欄>

<メモ欄>

